

令和3年度 第1回燕市学校給食運営委員会（書面開催）記録

1 開催方法

書面開催といたしました。

2 内 容

- (1) 令和2年度学校給食の取組実績について
- (2) 令和3年度学校給食の取組（案）について
- (3) 学校給食会計
 - ① 令和2年度学校給食会計決算
 - ② 令和3年度学校給食会計予算（案）

3 審議結果

全ての内容について、過半数の承認をもって、承認されました。

令和2年度学校給食の取組実績について	承認します 18、 承認しません 0
令和3年度学校給食の取組（案）について	承認します 18、 承認しません 0
学校給食会計	承認します 18、 承認しません 0

4 意見及び質問

【食物アレルギーに関すること】

- ・ 校長会で、アレルギー対応に関わって、成分表のデータ化推進について話題が出された。検討してほしい。
⇒ 令和3年8・9月分から、「食材詳細表」及び「定番使用調味料一覧表」については、PDFでも学校にお送りしています。
- ・ 「食物アレルギーをもつ児童生徒の保護者との情報交換会」の対象者は何人くらいいるのか。参加者が2名とあるが、必要性はどう考えるか。
⇒ 食物アレルギー対応給食を行っている約130人の保護者に案内を出しました。保護者の心配事や要望について、保護者と市で、又は保護者同士で情報交換をする機会であり、参加者は少なくとも、そのような場は必要であると捉えております。

【「減塩愛ディア献立」に関すること】

- ・ 「減塩愛ディア献立」は保護者にはどのように伝えているのか。毎月19日の「食育の日」は子どもたちにどのように伝えているのか。
⇒ 「減塩愛ディア献立」の取組が始まって2年目になりますが、4月の給食&食育日より取組について周知しています。あわせて、児童生徒に対

しては、給食時間の放送でも献立の工夫について伝えています。また、減塩愛ディア献立で提供した料理のレシピを給食&食育だよりに掲載し、減塩啓発に努めています。

「食育の日」については、6月の給食&食育だよりで6月が食育月間であることと、毎月19日が食育の日であることを記載しています。また、給食時間の放送で紹介することもあります。

- ・ 「減塩愛ディア献立」を実施し、子どもたちの反応はどうか。
⇒ 数校で給食時の様子を見たところ、普段と変わらずおいしそうに食べている様子でした。その日だけ特に残食が多いなどということもありません。
一部の学校では、減塩について担任と児童の間で話題になることもあると聞いています。
- ・ 「減塩愛ディア献立」を今年度も継続するのは良い。一生に渡り、生活習慣病を防ぐ上でとても大切なワードだ。減塩を感じさせない工夫を教えてもらえ、参考になる。給食を通じて、家族の減塩も進められると良い。

【給食会計に関すること】

- ・ 監査委員はどういった人か。
⇒ 当該給食会計年度の学校給食運営委員会委員です。
- ・ 収入の部で分水小学校や吉田中学校の予算が昨年度比でかなり増額しているが、なぜか。
⇒ これまでと算出方法を変えたためです。前年度までは、以前設けていた給食基本回数（小学校188回、中学校186回）で算出していましたが、今年度からは給食会計ごとの予定給食回数の平均（分水小学校は193.6回、吉田中は192回）で算出しています。授業日数が以前よりも増えており、それに伴って給食回数も近年増えています。また、どちらの学校も昨年よりも喫食者数が増えています。
- ・ 収入の部にある本年度未納金はどうなっているのか。教育立市を宣言しているのであれば、給食費の無償化を検討してはどうか。
⇒ 東部学校給食センター中学校給食会計の収入の部にマイナスで記載の本年度未納金34,280円について、うち23,240円については、令和3年度に入ってから支払いがありました。残りの11,040円については、今年度中に支払っていただけるよう、学校から働きかけていただいています。
また、経済的に困難な家庭につきましては、就学援助制度があり、学校給食費が実費で支給されていることから、学校給食費を一律に無償化することは考えておりません。

- ・ 小学校・中学校で会計を分けているのに、小学校に「給食センター」が入っているのはなぜか。
⇒ 給食センターに勤める栄養教諭が小学校所属であるため、会計は小学校の教職員と同様に小学校会計に含めています。

【給食だよりについて】

- ・ 給食だよりが見にくく感じる。改良してほしい。
⇒ 内容を精査するとともに、字体や字の大きさを見やすいように変えます。
- ・ 昨年度1月の学校給食運営委員会で、給食だよりをB4からA3にするとあったが、いまだB4で届く。周知されていないのか。
⇒ 給食だよりをA3で印刷することについては、周知をしております。当該学校に確認しましたところ、A3にすることは承知していたが、掲示するスペース等の関係から、これまでどおりB4で印刷していたとのことでしたので、A3で印刷するよう再度お願いしました。

【食育について】

- ・ 食育動画の公開方法と公開時期は。
⇒ 今年度中にユーチューブに公開し、燕市ホームページにリンクを貼ります。
- ・ 「大河津分水通水 100 周年事業『学校給食における新メニューの開発』」はいつごろ、どのように進むのか。
⇒ 今年度、長善館や大河津分水について情報収集し、栄養教諭等が給食メニューを考案します。
来年度、通水 100 周年事業として、新メニューを提供する予定です。
- ・ 感染対策等、日ごろの給食運営に加えて対応いただいている先生方や給食担当の皆様へ感謝する。会話を楽しむ給食の時間が、正面を向いての黙食にと子どもたちも変化を強いられているが、これもチャンスと捉え、可能であれば食育動画の放映や、校内放送による食育発信の時間に有効活用できればと思う。
⇒ 給食時間の放送原稿は給食センターから学校に送っており、黙食となつてからは、以前よりも子どもたちがよく聞いているのではないかと考えています。今年度食育動画を作成するため、学校で見てもらえるよう働きかけます。

【その他】

- ・ 「地産地消の推進」で野菜の燕市産使用率は 17.1%とあるが、少ないのではないかと？目標値はあるのか。

⇒ 市内産使用率は、市によって集計方法が異なります。燕市では重量を集計した割合を見ているのですが、食材数で集計している市や、食肉や加工品を集計に含めている市もあり、県内他市との比較ができません。また、燕市産野菜の使用目標値は特に設けておりません。

少なく感じられるかもしれませんが、使えるものは可能な限り燕市産を使用できるよう、献立作成の段階から配慮しています。

- ・ 子どもたちの健康とより良い成長のために、様々な献立の工夫をしていただいていることに感謝する。子ども時代の食事経験が、将来の食生活に大きく関わると言われているので、今後も献立の工夫をお願いします。

- ・ 規程の第5条で、「委員会は、教育長が招集し、毎年1回定例会を開くものとする。」とあるが、今回のように定例会を行わない中で、規程の改訂は考えているのか。2回やるのはなぜか。今回の位置付けはどうなっているのか。

⇒ 感染症対策として書面開催にさせていただきましたが、今回についても定例会と位置付けています。

ご指摘のとおり、これまで年2回又は3回開催されておりますので、今後回数も含めて検討してまいります。

- ・ 毎日の学校給食を写真撮影し、給食だよりと一緒にホームページに掲載してはどうかと意見したことがある。毎日掲載するのは現実的ではないと回答があったが、再度検討してほしい。

⇒ 何らかの方法で給食の写真を公開できるよう検討中です。決まりましたらお知らせします。

- ・ 残量調査については、児童生徒に対して調査日の告知や、給食時の先生からの調査協力の発言をなしにした上で、残量調査をしなければ正確な実態が分からない。予告なしで残量調査が実施されているか、再度確認してほしい。

⇒ 調査の際には、学校に対して、普段の喫食状況が正確に把握できるよう、児童生徒に「今日は残食調査です。」等の声掛けをせず、普段どおりの給食指導をするよう依頼しており、今年度も継続します。